

テーマ：北方領土（実践校）

檜山管内 今金町立種川小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・北方領土について理解を深め、領土問題の解決に向けて児童一人一人が考えることを通して、ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、社会科や総合的な学習の時間に北方領土について学ぶ単元を位置付けるとともに、元島民である北方領土の語り部を外部講師として招聘し講話を聞くなどの活動を通して、北方領土について探究的な学習活動を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

社会科の学習で「知っていますか？日本の北方領土」コーナーの展示資料や北方領土問題対策協会のWebサイト上の情報を通して、我が国の領土問題や故郷を追われた人たちの存在について理解し、「未来に向けて北方領土問題をどのように解決していけばよいのか」などの探究的な課題を設定しました。

(2) 情報の収集

北方領土の語り部からの講話の時間を設定し、事前学習で生じた生徒の疑問を語り部の方に送付しました。講話を聞く中で、北方領土には素晴らしい自然があることや、北方領土は我が国固有の領土であることの歴史的認識、元島民の方々の苦しみや、故郷に対する思いに気づき、北方領土に係る多くの問題があり、解決が急がれることについて理解を深めました。



【語り部による講話の様子】

(3) 整理・分析

講話内容や調べ学習で収集した情報について整理・分析を行うとともに、北方領土の自然や領土問題について考えたことを講師に向けて手紙で伝えました。

(4) まとめ・表現

北方領土について、児童が探究した課題についてまとめ、発表し合うことを通して、日本とロシアが歴史的事実に基づいた話合いで平和的に領土問題を解決することができるように、道民一人一人がふるさと北海道の問題として考えていくことの必要性について理解を深めました。

②児童の感想等

- ・北方領土には美しい自然が多いことに驚きました。いつか私も行ってみたいです。
- ・領土問題は、日本もロシアも納得できる解決方法を考えることが大切だと思います。

■取組の成果（○）と課題（●）

- 北方領土の学習に関するアンケートでは、「北方領土の自然や歴史、領土の返還についてもっと調べたい」と回答した児童が、4段階中、学習前の平均 2.3 から学習後の平均 3.5 と 1.2 ポイント増加しました。
- 北方領土の歴史や自然、戦前及び現在の様子、領土問題などについて理解を深め、児童一人一人が北方領土問題について考えることを通して、北海道の歴史や自然等について考えることができ、ふるさとに対する愛着や誇りを育むことにつながりました。
- 北方領土をテーマとした学習が子どもたちにとって一度きりになるのではなく、発達の段階に応じて、学習を継続させていく必要があります。